

2. 雪国の今後の展望

豊富な国土資源の経済、社会への貢献

我が国は主要先進諸国と比較しても低い食料自給率であるが、雪国では豊富な国土資源を活用して食料自給率が高く、今後においても、我が国の食料の安定供給を支えていく地域としての役割が期待される。

我が国の雪国のGDPは約7000億ドル（平成10年度、1ドル=130円で試算）に達しており、北欧4カ国（デンマーク、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー）の約6900億ドルやカナダの約6100億ドルに匹敵するとともに、地理的特性を生かし対岸諸国との活発な交流を行っており、アジア諸国との交流窓口としての機能が期待される。

我が国の雪国は、その地理的・気候的な特性を生かした研究開発が盛んであり、雪氷に関する研究分野で世界をリードする地域となることが期待されている。

美しい自然と歴史ある伝統、文化の活用

雪国は、明瞭な四季、豊かな自然環境を保持するとともに、20世紀型の経済発展の中で人々が見失いつつあった伝統・文化などの資源を残している地域であり、ゆとりや安らぎを取り戻すいやしの空間を提供してくれる観光地域としての機能が期待される。

雪はそれ自体が観光資源である。雪国としての地域特性を活かした観光資源は、国内ばかりなくアジア近隣諸国等、雪国以外の地方の人々にとって、貴重な観光スポットである。雪国は、これからも、雪を用いた祭りやイベント、ウインター・スポーツなど、雪国独特のレクリエーションや観光などを豊富に提供できる地域であり、アジア諸国との交流が一層促進されれば、アジアにおける冬期観光の拠点の機能が期待される。

Column

～冷熱資源としての雪活用～



氷室(岩手県沢内村)



雪室(山形県村山市)

資料:東北雪対策連絡協議会

豊富な国土資源の経済、社会への貢献

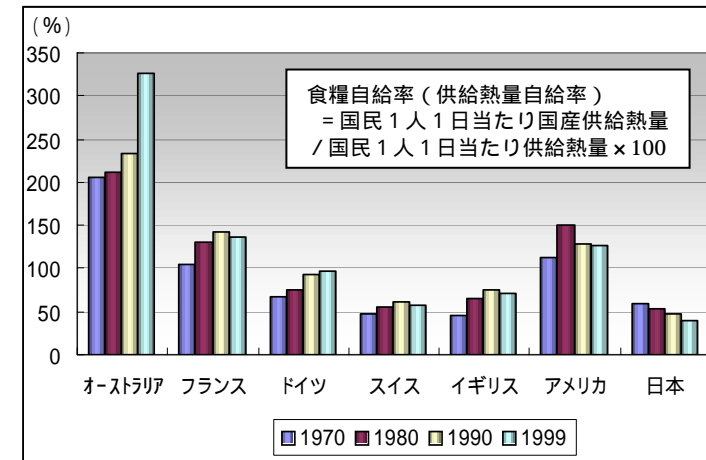


図8 主要先進国の食料自給率 (%)

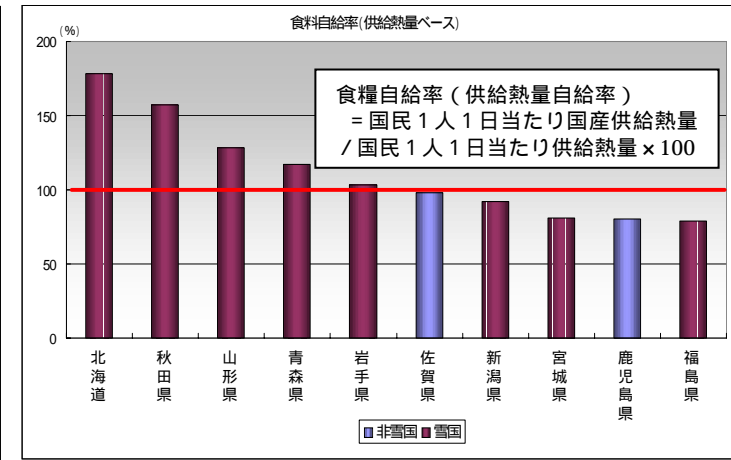


図9 国内の食料自給率 (%)

資料:平成13年度食料自給率レポート(農林水産省)

雪国の地理的・気候的な特性を生かした研究開発事例

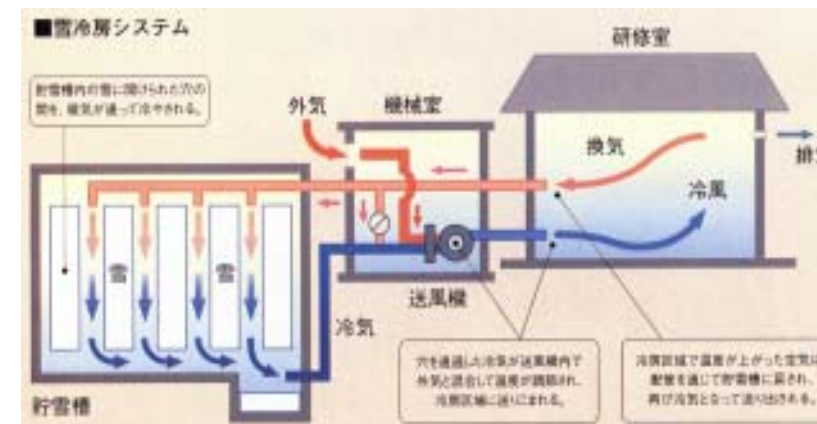


図10 雪冷房システム(山形県舟形町)



資料:平成13年東北雪対策連絡協議会

美しい自然と歴史ある伝統、文化の活用

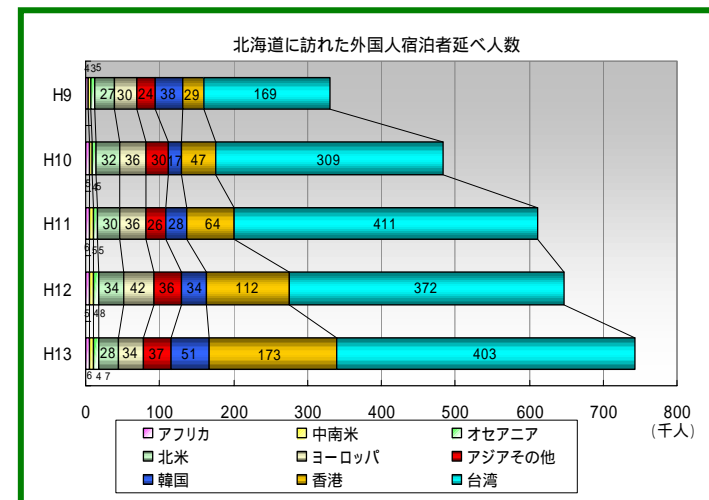


図11 北海道へ訪れた外国人宿泊延べ人数の推移

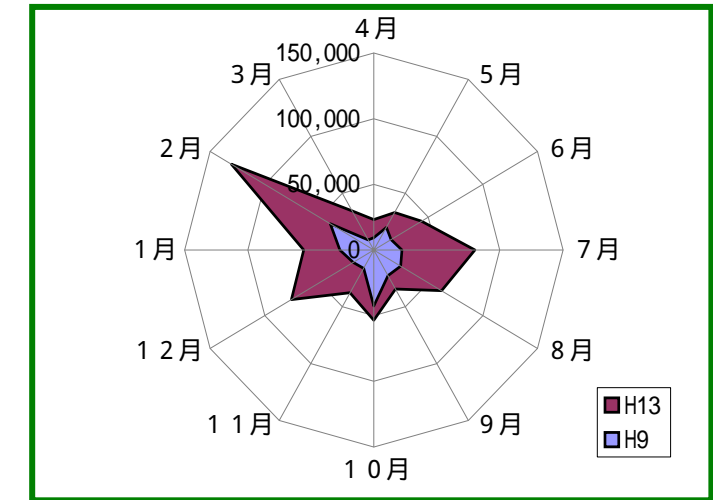


図12 北海道へ訪れる月別訪日外国人(アジア地域)宿泊延数

資料:北海道観光入込客数調査

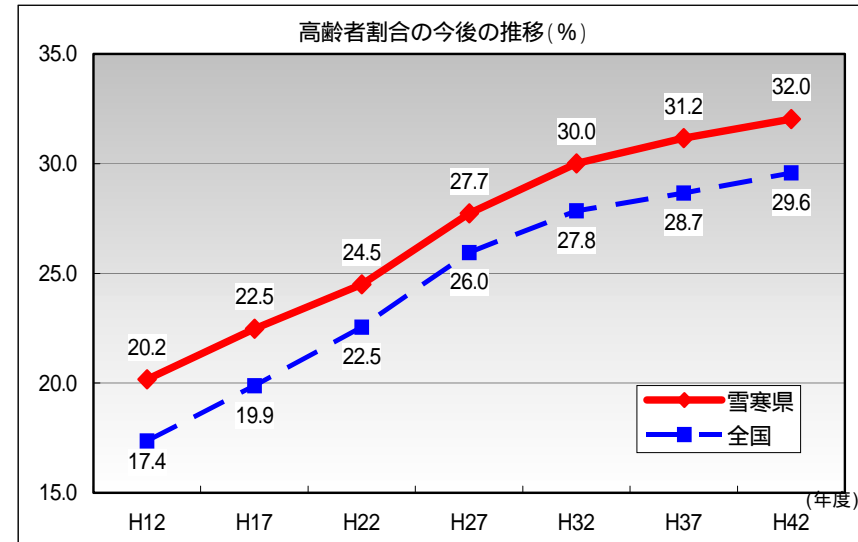
少子高齢化社会における
地域づくりの先導的役割

我が国が高齢化社会に移行する中で、雪国は全国平均を上回るスピードで高齢化が進行しており、今後この傾向はますます加速することが予想されている。

雪国は、雪国以外の地域がこれから経験する高齢化社会を現在体験している段階にある。雪国は我が国の21世紀における持続的な発展を遂げるため、高齢化、除排雪などの地域住民に直結する課題に対する地域づくりを先導する役割を担っている。

少子高齢化社会における地域づくりの先導的役割

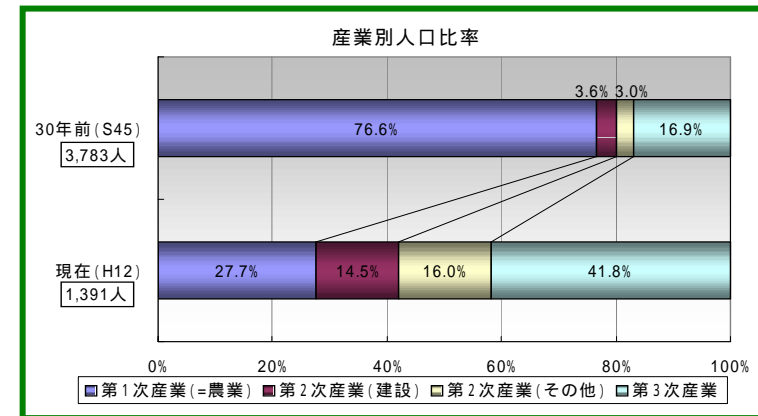
加速する高齢者割合



雪寒県：北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、鳥取県、島根県

雪寒県とは、積雪地域に属する道府県において、当該地域の人口及び面積が、道府県の50%以上に該当する場合

図13 高齢者割合の今後の推移 (%) 資料: 国立社会保障・人口問題研究所



・就業者が第二、三次産業へ移行し、農業人口が減少。

図14 新潟県A町における産業別人口比率

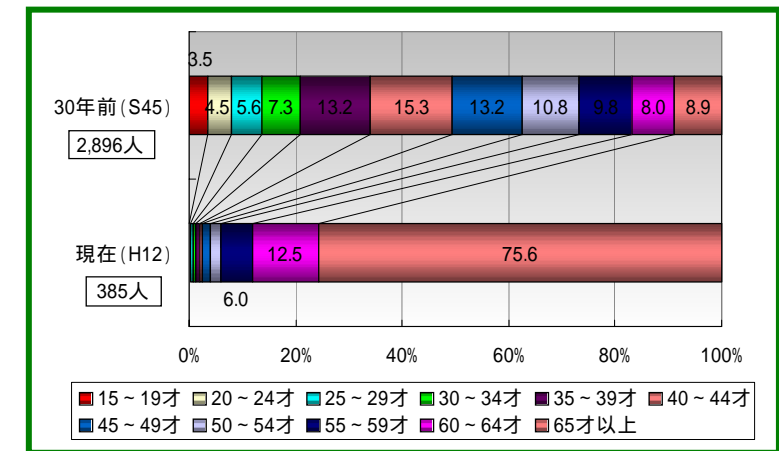


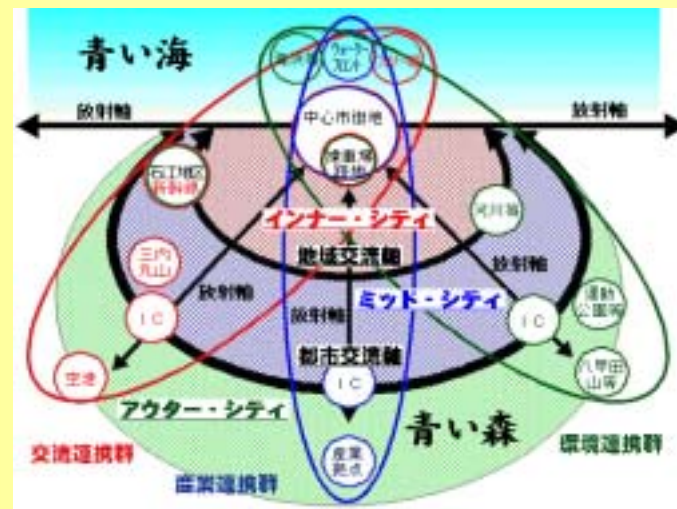
図15 新潟県A町における年齢別農業就業者

資料: 国勢調査

・若者の農業離れ、農業従事者の高齢化が進行。

Column

~雪国の地域づくりの事例(コンパクトな街づくり)~



将来都市構造の概念図 (青森市)

都市がコンパクトになると

- 通勤渋滞の緩和
- 近郊緑地や農地保全
- 中心市街地の活性化
- 自然・地球環境の保護
- 高齢者の商店街、公共交通施設等の利用促進

資料: H11年青森都市計画マスタープラン